

月経困難症／過多月経の 薬物療法

東京大学医学部 産婦人科学講座

甲賀かをり

薬物療法のABC



症状に対する治療

月経のコントロール

器質的疾患のコントロール

薬物療法のABC



症状に対する治療

月経のコントロール

器質的疾患のコントロール

● 症状に対する治療 (月経困難症)

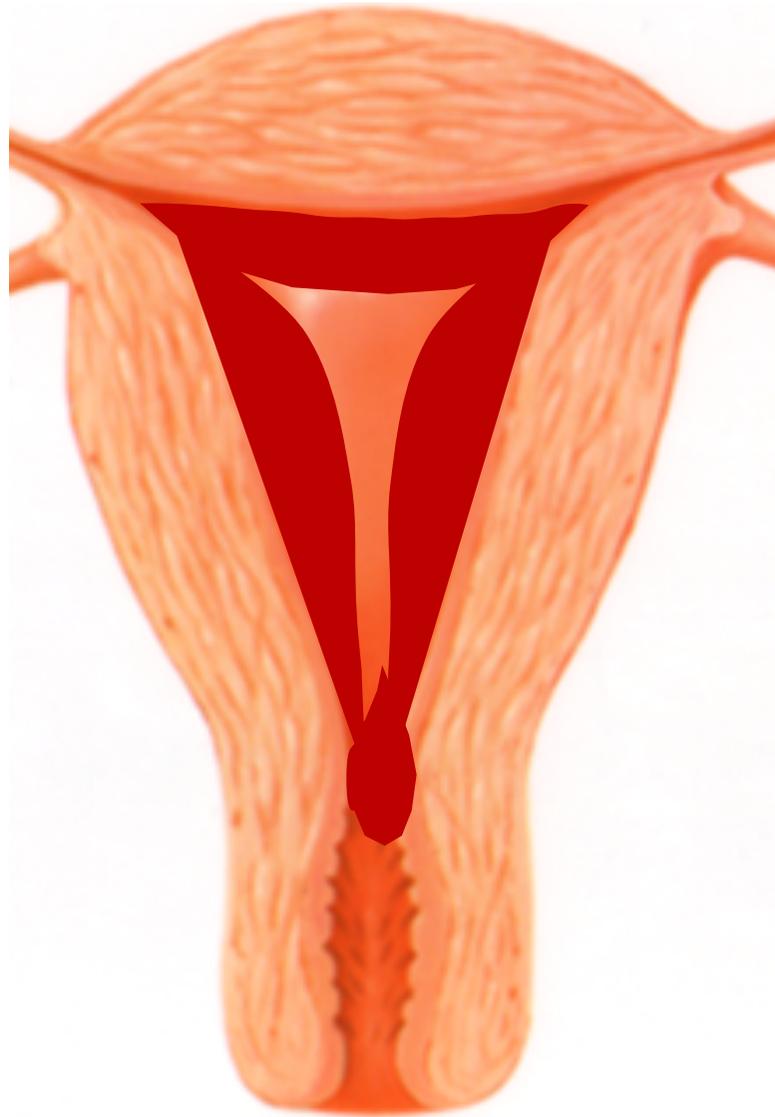
婦人科ガイドライン2017

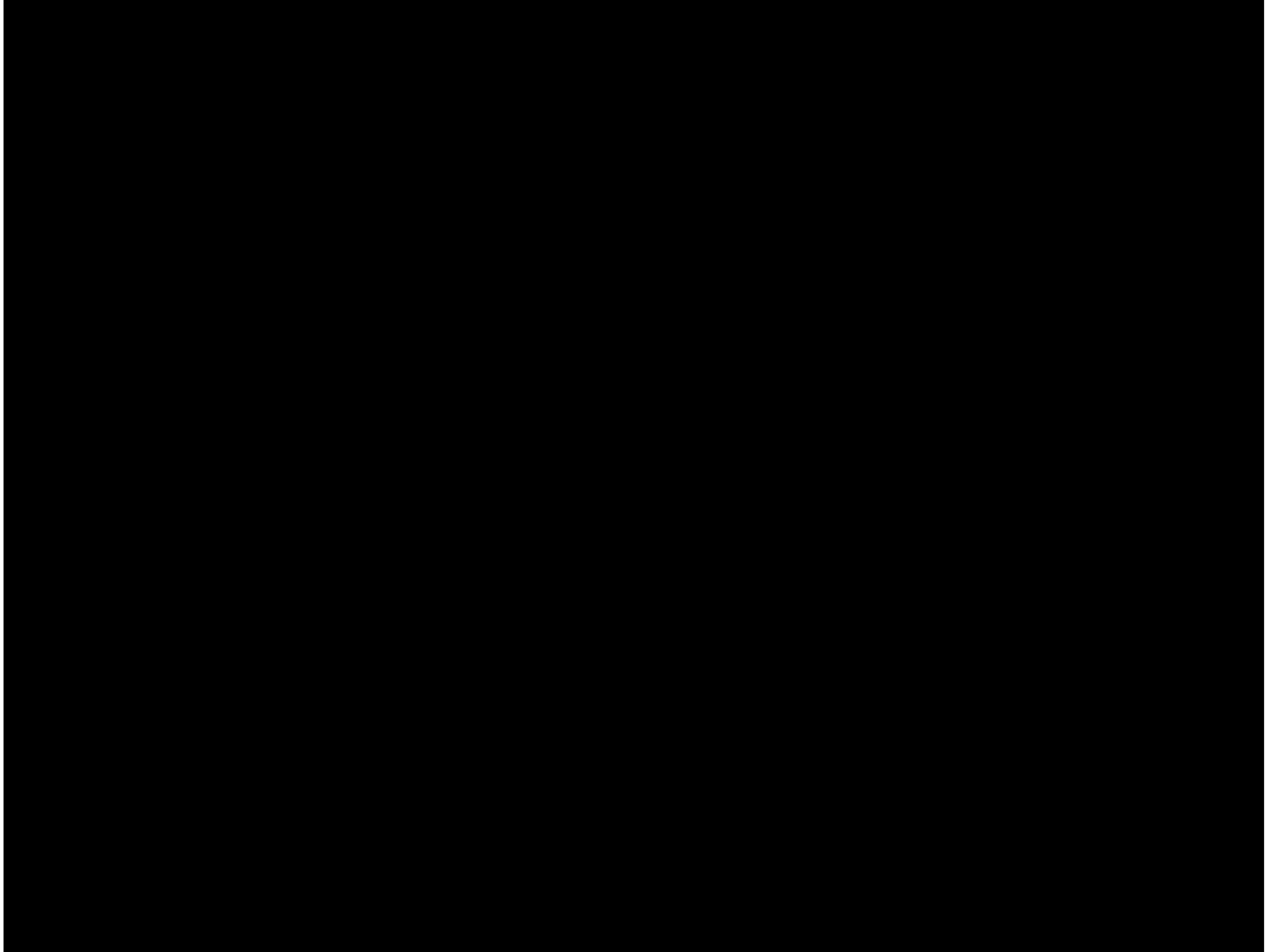
CQ304 機能性月経困難症の治療は？

Answer

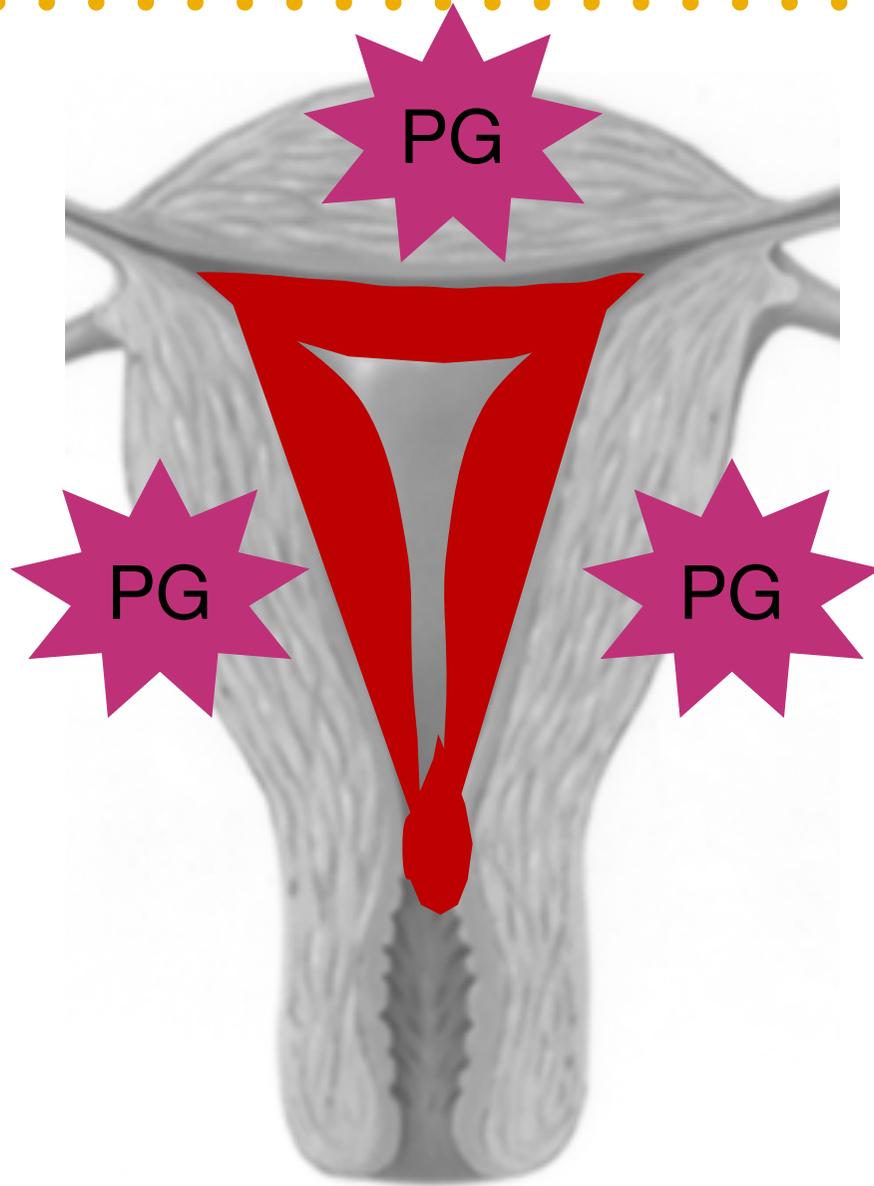
1. 鎮痛薬 (NSAIDs など), 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬, またはレボノルゲストレル放出子宮内システムを使用する. (B)
2. 漢方薬あるいは鎮痙薬を投与する. (C)

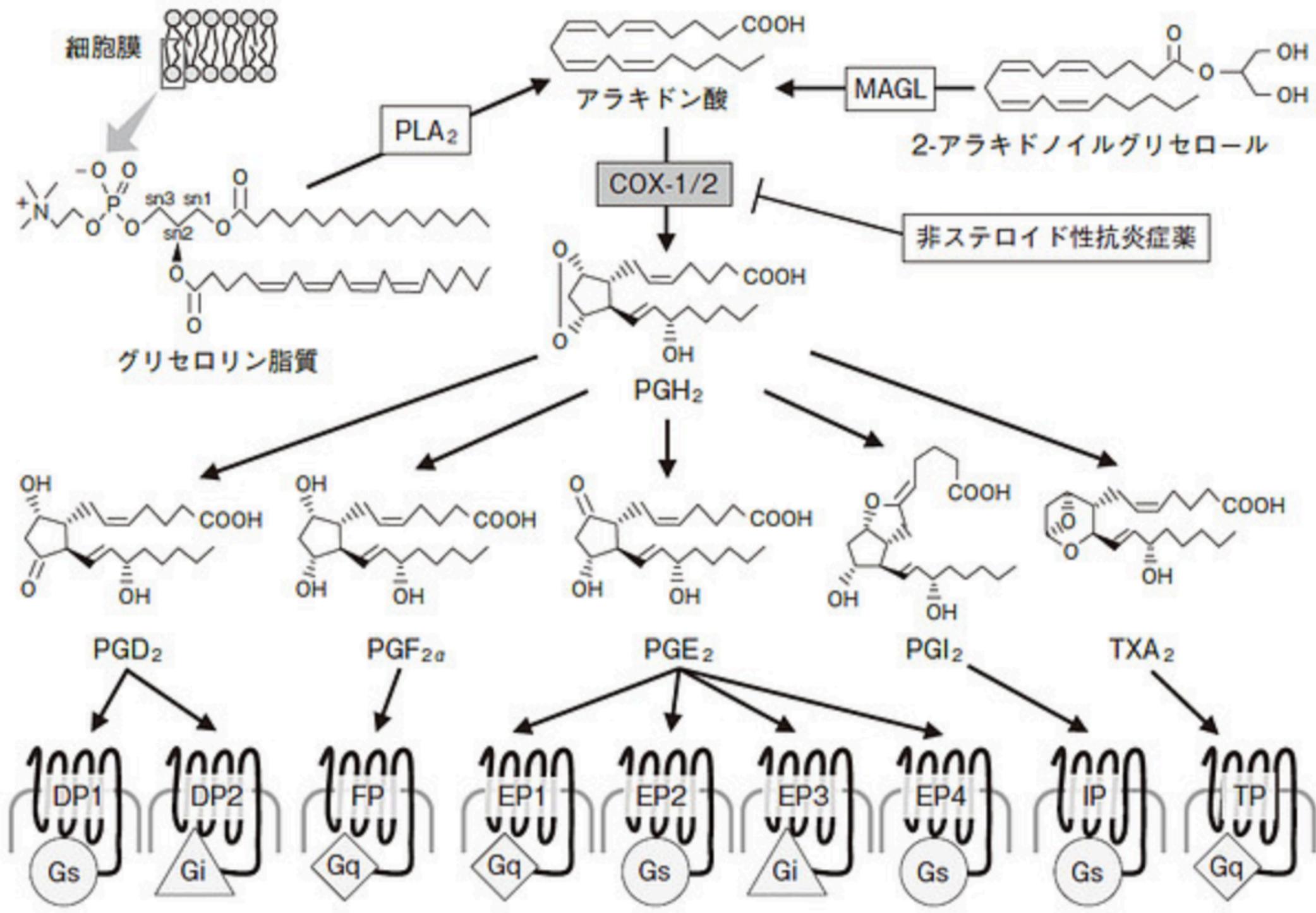
● 症状に対する治療 (月経困難症)





● 症状に対する治療 (月経困難症)





細胞膜

アラキドン酸

MAGL

2-アラキドノイルグリセロール

PLA₂

COX-1/2

非ステロイド性抗炎症薬

グリセロリン脂質

PGH₂

PGD₂

PGF_{2α}

PGE₂

PGI₂

TXA₂

DP1

DP2

FP

EP1

EP2

EP3

EP4

IP

TP

Gs

Gi

Gq

Gq

Gs

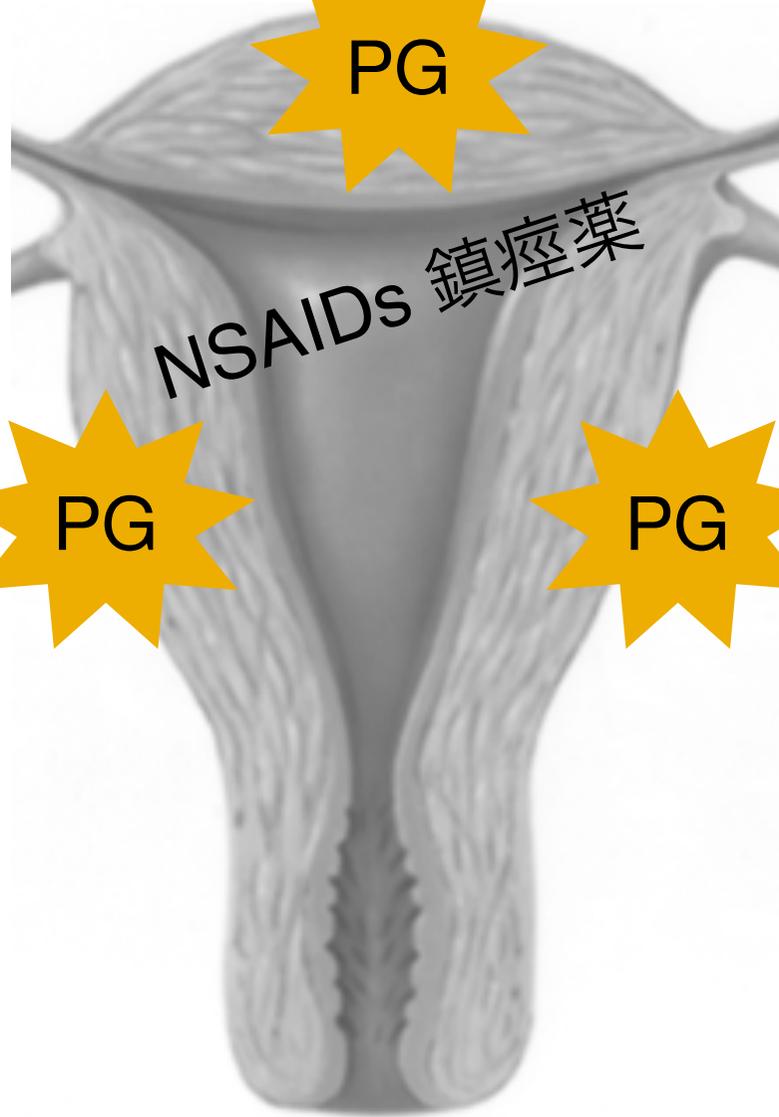
Gi

Gs

Gs

Gq

● 症状に対する治療 (月経困難症)



● 症状に対する治療 (月経困難症)

婦人科ガイドライン2017

CQ304 機能性月経困難症の治療は？

Answer

1. 鎮痛薬 (NSAIDs など), 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬, またはレボノルゲストレル放出子宮内システムを使用する。(B)
2. 漢方薬あるいは鎮痙薬を投与する。(C)

Tips

早めに飲ませる

● 症状に対する治療 (月経困難症)

婦人科ガイドライン2017

CQ304 機能性月経困難症の治療は？

Answer

1. 鎮痛薬 (NSAIDs など), 低用量エストロゲン・プロゲステロン配合薬, または レボノルゲストレル放出子宮内システム を使用する. (B)
2. 漢方薬 あるいは鎮痙薬を投与する. (C)

症状に対する治療 (月経困難症)



● 症状に対する治療 (過多月経)

婦人科ガイドライン2017

CQ305 器質性疾患のない過多月経の薬物療法は？

Answer

1. エストロゲン・プロゲスチン配合薬を投与する (C)
2. 抗線溶薬 (トラネキサム酸) を投与する (C)
3. レボノルゲストレル放出子宮内システムを使用する (C)

症状に対する治療 (過多月経)



Cochrane
Library

Cochrane Database of Systematic Reviews

Antifibrinolytics for heavy menstrual bleeding (Review)

Lethaby A, Farquhar C, Cooke I

Lethaby A, Farquhar C, Cooke I.

Antifibrinolytics for heavy menstrual bleeding.

Cochrane Database of Systematic Reviews 2000, Issue 4. Art. No.: CD000249.

DOI: 10.1002/14651858.CD000249.

www.cochranelibrary.com

● 症状に対する治療 (過多月経)

トラネキサム酸
(トランサミン®)



Note

海外では2.5-4 g/day x 4D
本邦では保険適用外

薬物療法のABC



症状に対する治療

月経のコントロール

器質的疾患のコントロール

● 月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

婦人科ガイドライン2017

CQ304 機能性月経困難症の治療は？

Answer

1. 鎮痛薬 (NSAIDs など), 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬, または レボノルゲストレル放出子宮内システム を使用する. (B)
2. 漢方薬あるいは鎮痙薬を投与する. (C)

CQ305 器質性疾患のない過多月経の薬物療法は？

Answer

1. エストロゲン・プロゲスチン配合薬 を投与する (C)
2. 抗線溶薬 (トラネキサム酸) を投与する (C)
3. レボノルゲストレル放出子宮内システム を使用する (C)

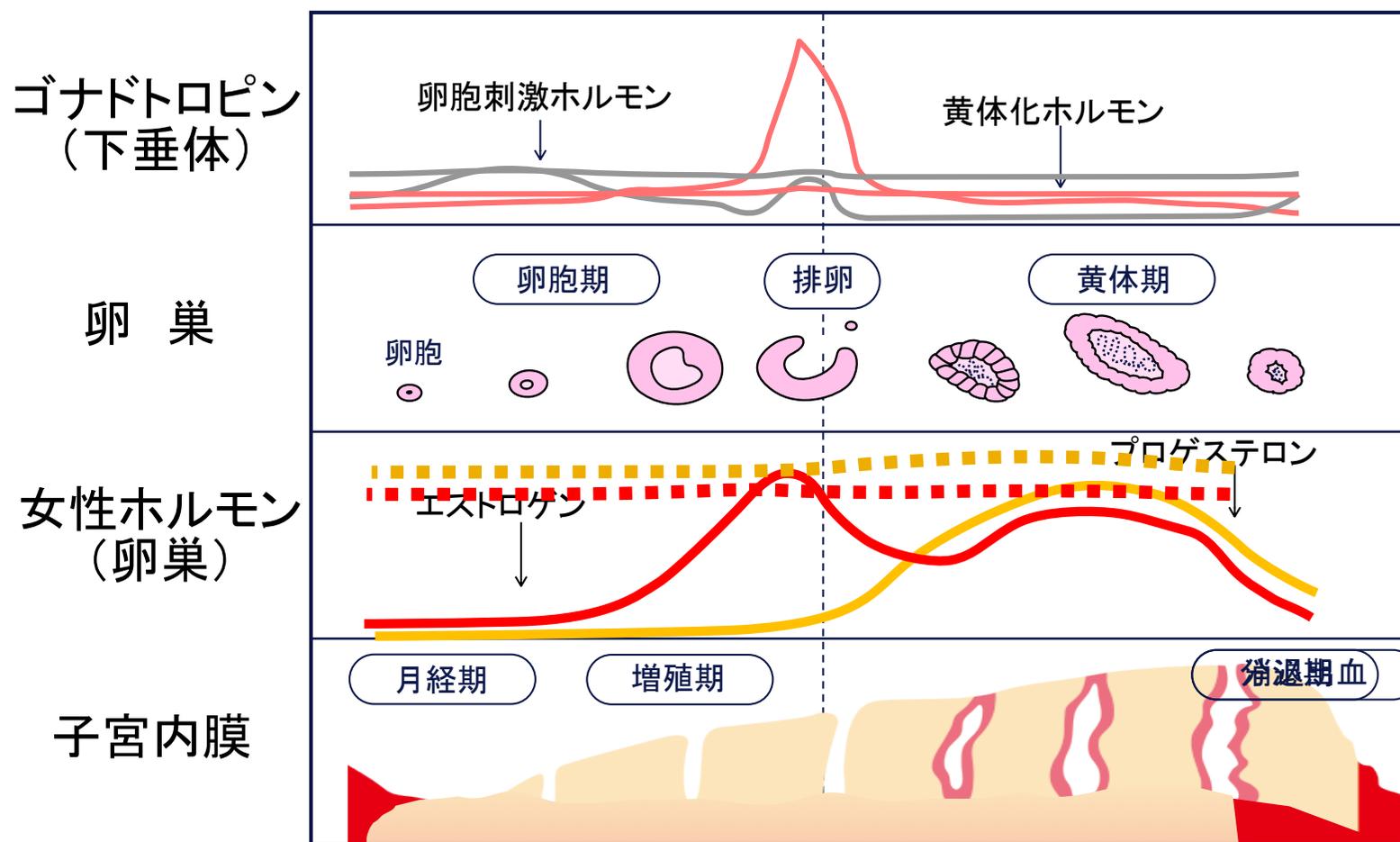
月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

エストロゲンプロゲステロン配合薬

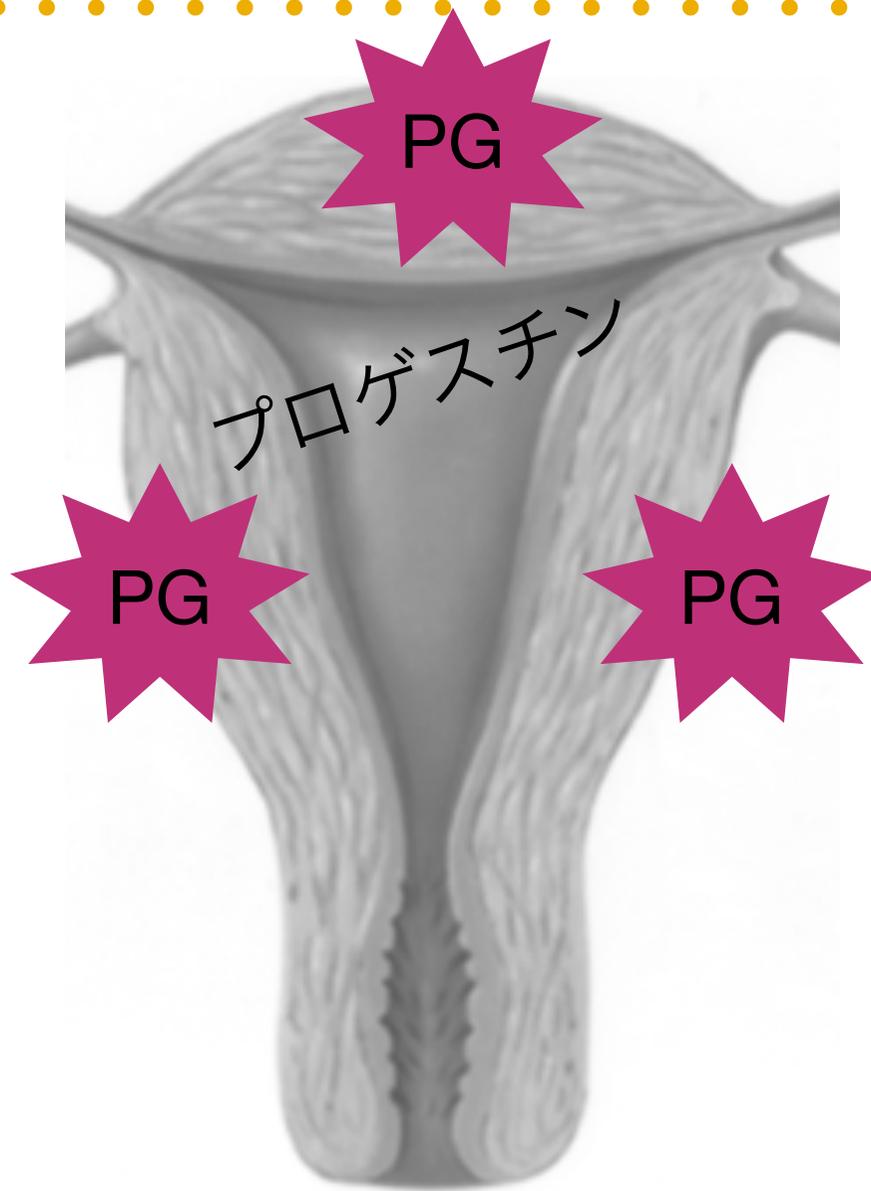


月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

エストロゲンプロゲステロン配合薬



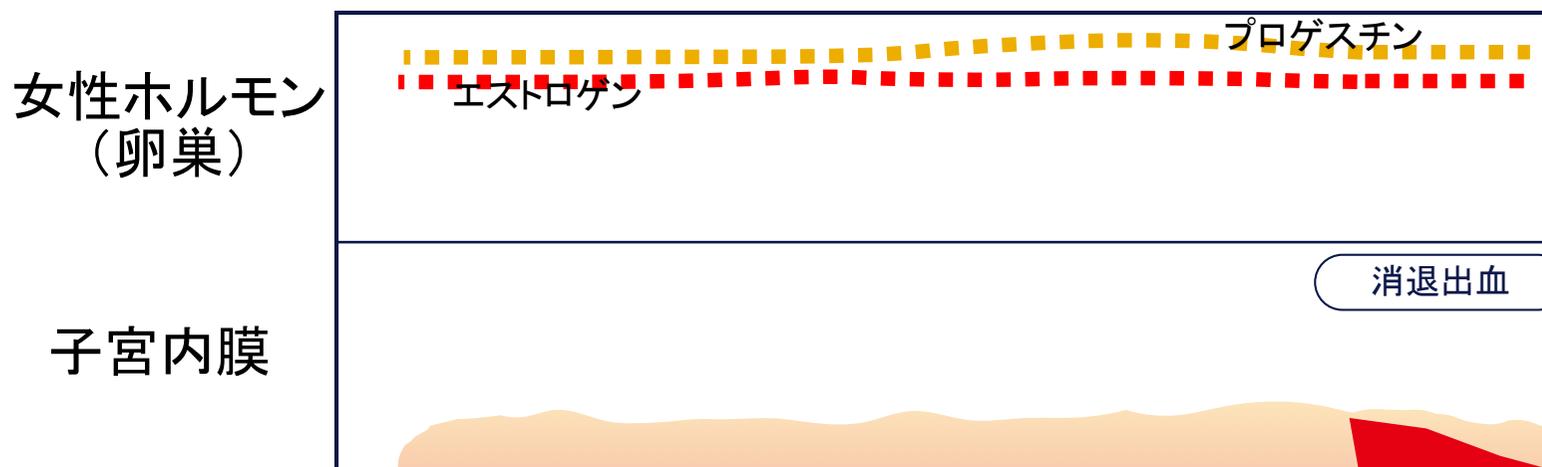
月経のコントロール (月経困難症・過多月経)



月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

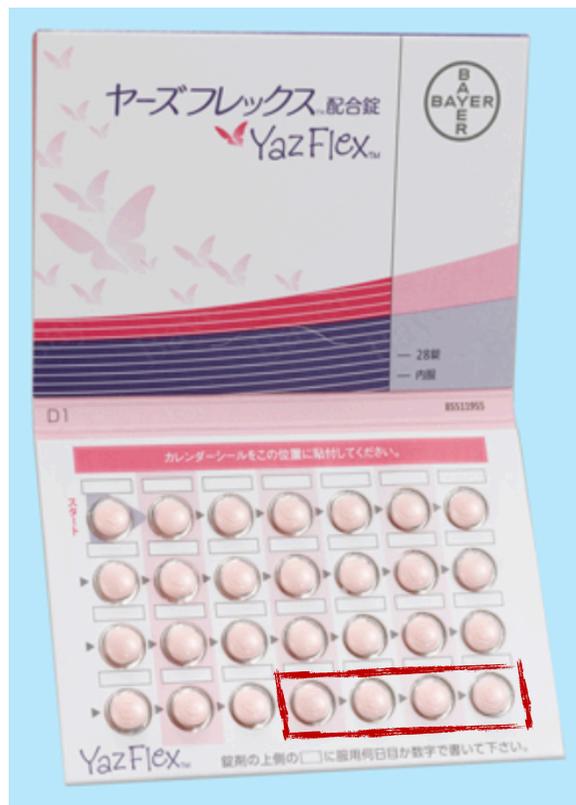
Tips

必ずしも消退出血をおこさなくても良い
＝休薬期間を置かなくても良い



月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

エストロゲンプロゲステロン配合薬



● 月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

婦人科ガイドライン2017

CQ304 機能性月経困難症の治療は？

Answer

1. 鎮痛薬 (NSAIDs など), 低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬, または レボノルゲストレル放出子宮内システム を使用する. (B)
2. 漢方薬あるいは鎮痙薬を投与する. (C)

CQ305 器質性疾患のない過多月経の薬物療法は？

Answer

1. エストロゲン・プロゲスチン配合薬を投与する (C)
2. 抗線溶薬 (トラネキサム酸) を投与する (C)
3. レボノルゲストレル放出子宮内システム を使用する (C)

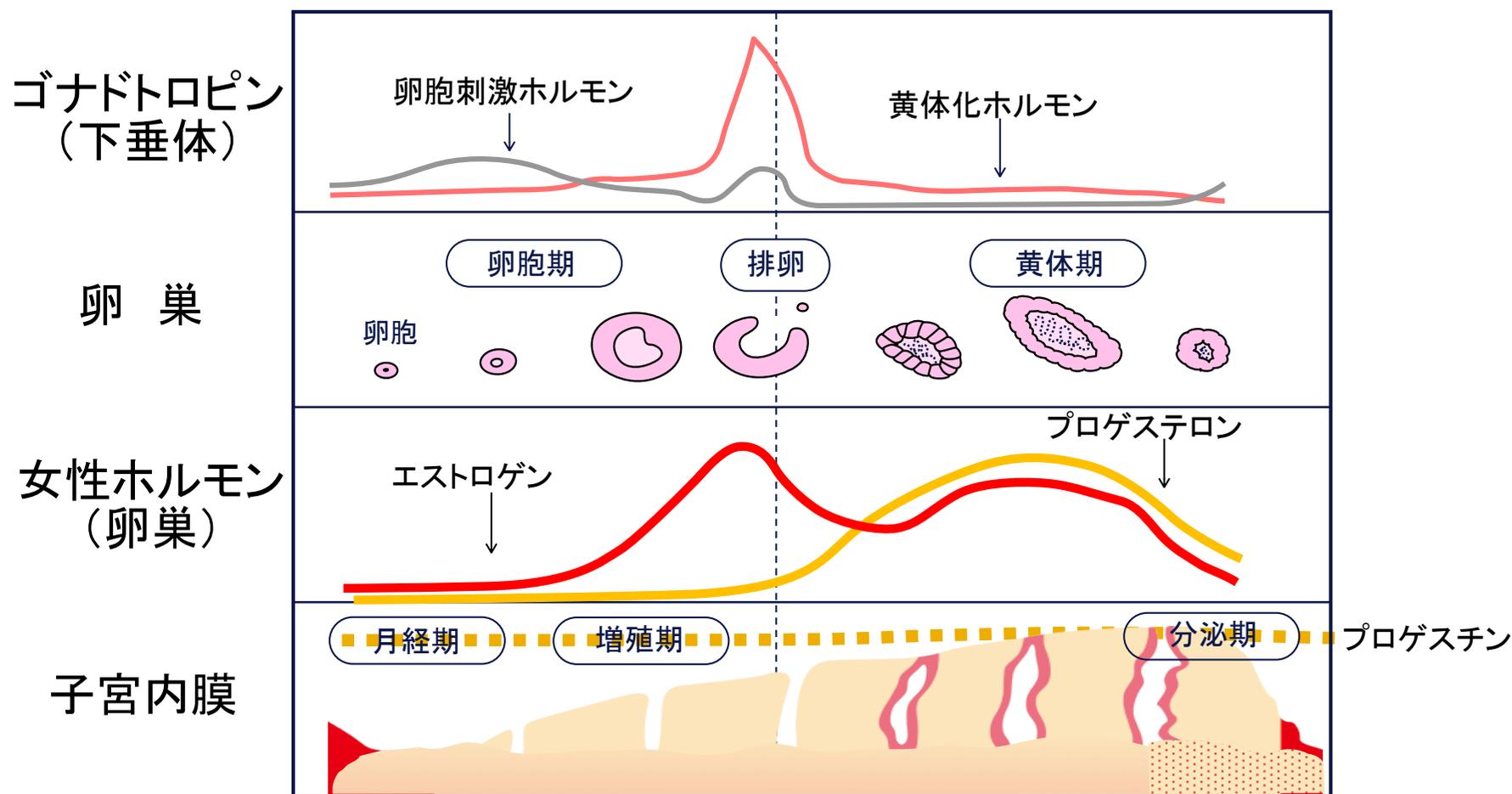
● 月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

レボノルゲストレル放出子宮内システム (LNG-IUS ミレーナ®)

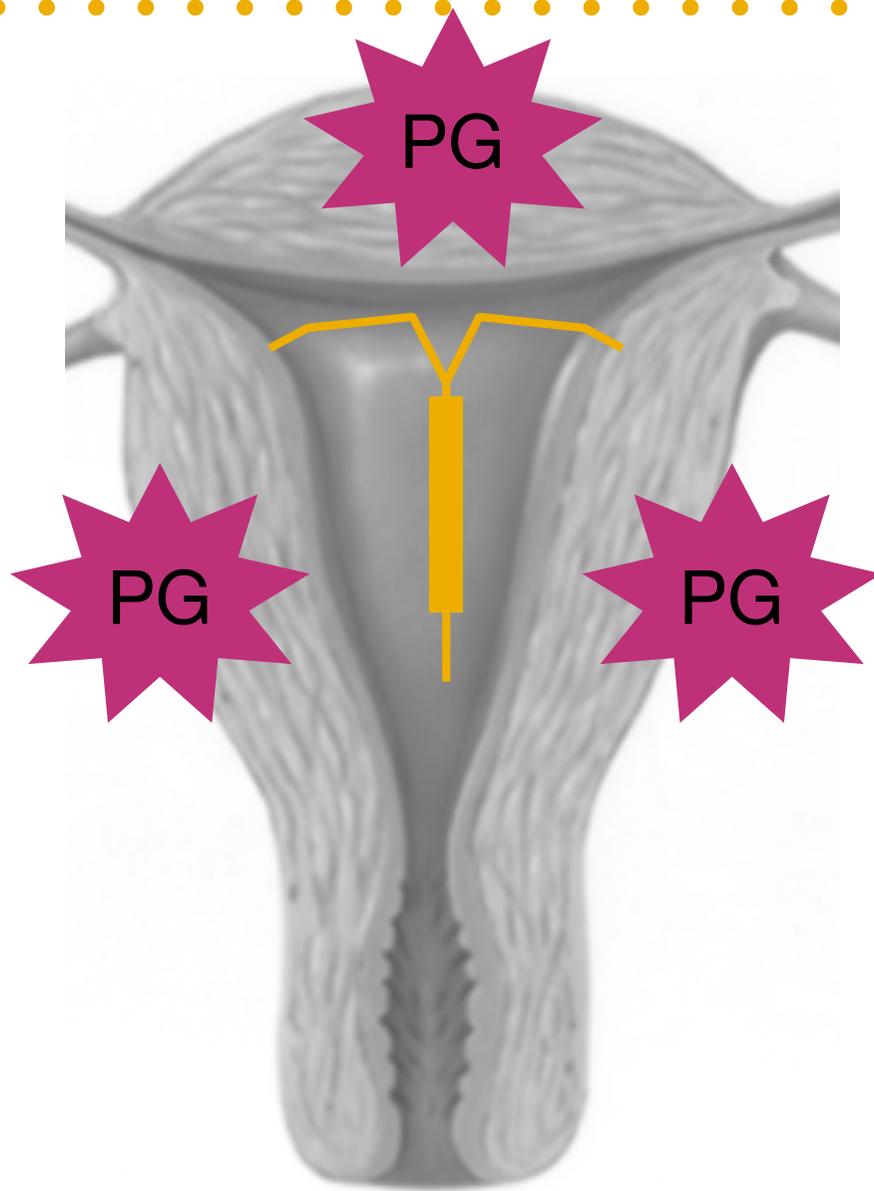


月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

レボノルゲストレル放出子宮内システム



月経のコントロール (月経困難症・過多月経)



● 月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

レボノルゲストレル放出子宮内システム

Note

- ・約5年間で効果は切れる
- ・粘膜下筋腫合併、大きな子宮では脱出のリスク
- ・tailが見えない、、、レントゲンに写ります！



薬物療法のABC



症状に対する治療

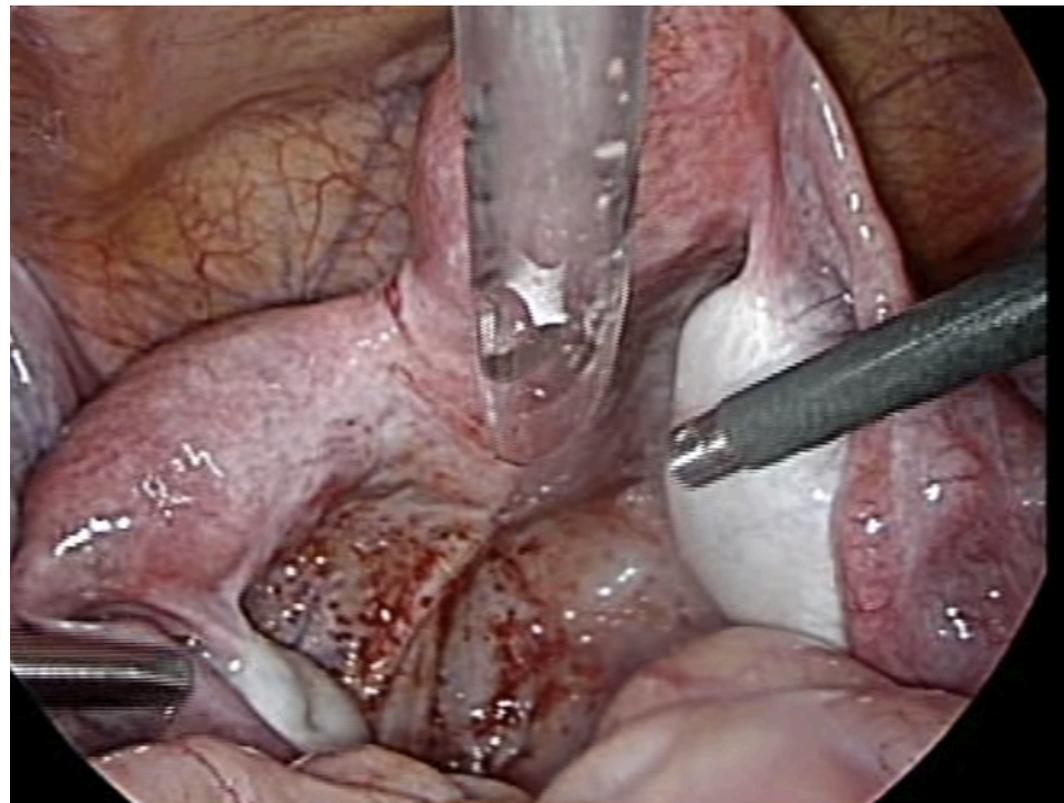
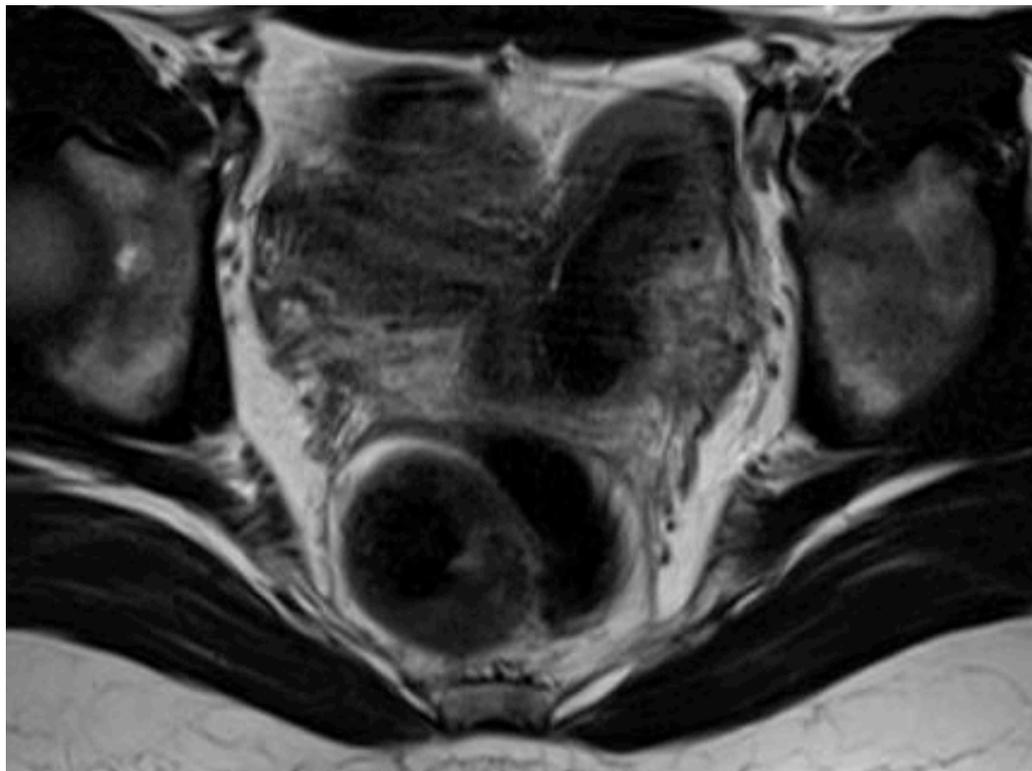
月経のコントロール

器質的疾患のコントロール

器質的疾患のコントロール

Note

本来は器質的疾患の除外が先！



器質的疾患のコントロール

可能性のある器質的疾患

月経困難症

子宮内膜症

子宮腺筋症

子宮筋腫

子宮奇形

過多月経

子宮筋腫

子宮腺筋症

子宮内膜ポリープ

器質的疾患のコントロール

器質的疾患に対する治療

エストロプロゲステン

排卵抑える

月経量も減る

(連続投与で止まる)

長期投与可能

血栓など副作用

プロゲステン

排卵抑える

月経止まる

長期投与可能

プロゲステン放出
子宮内システム

排卵抑えない

月経量減る

長期挿入可能

GnRHアナログ

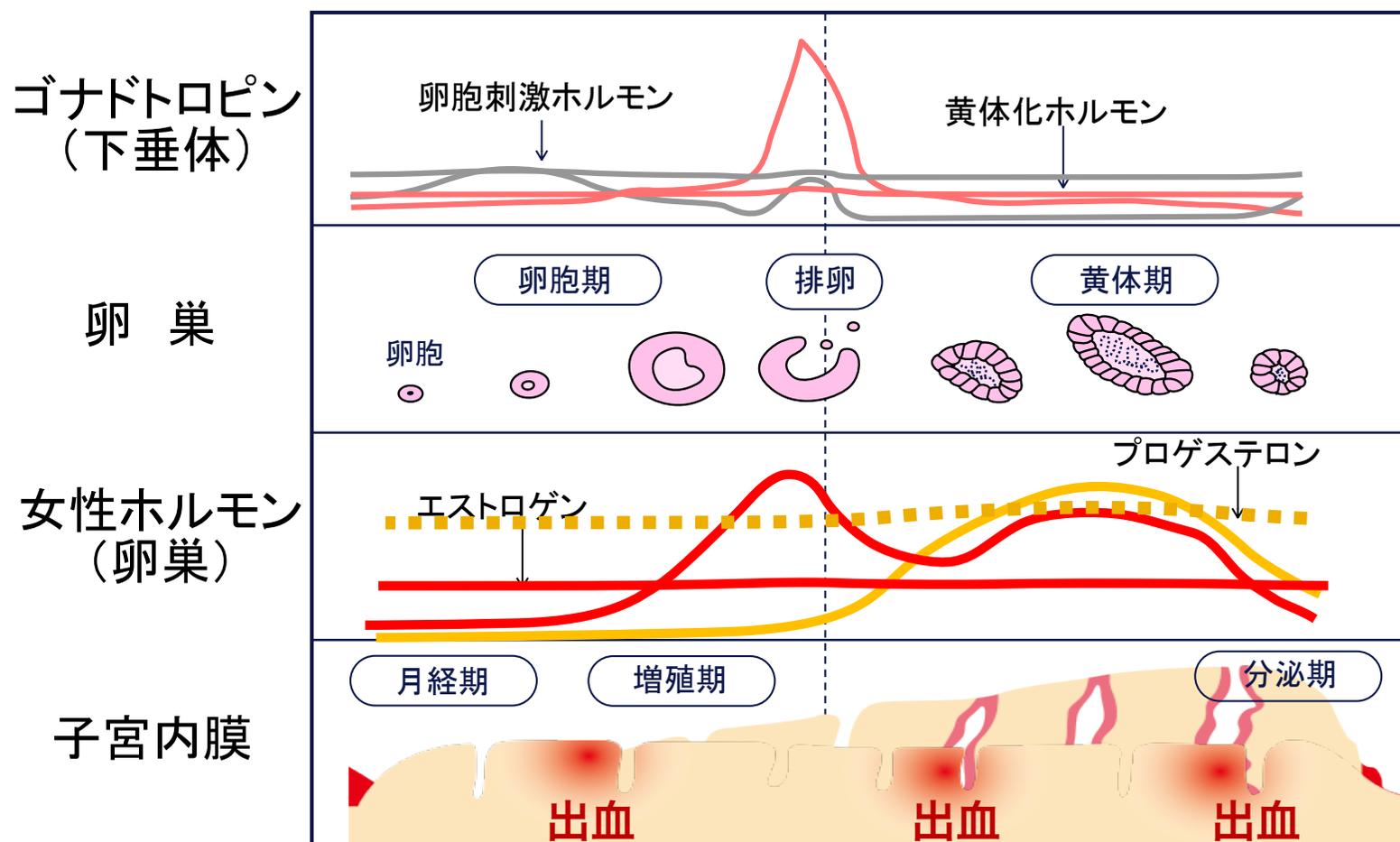
排卵抑える

月経止まる

長期投与不可能

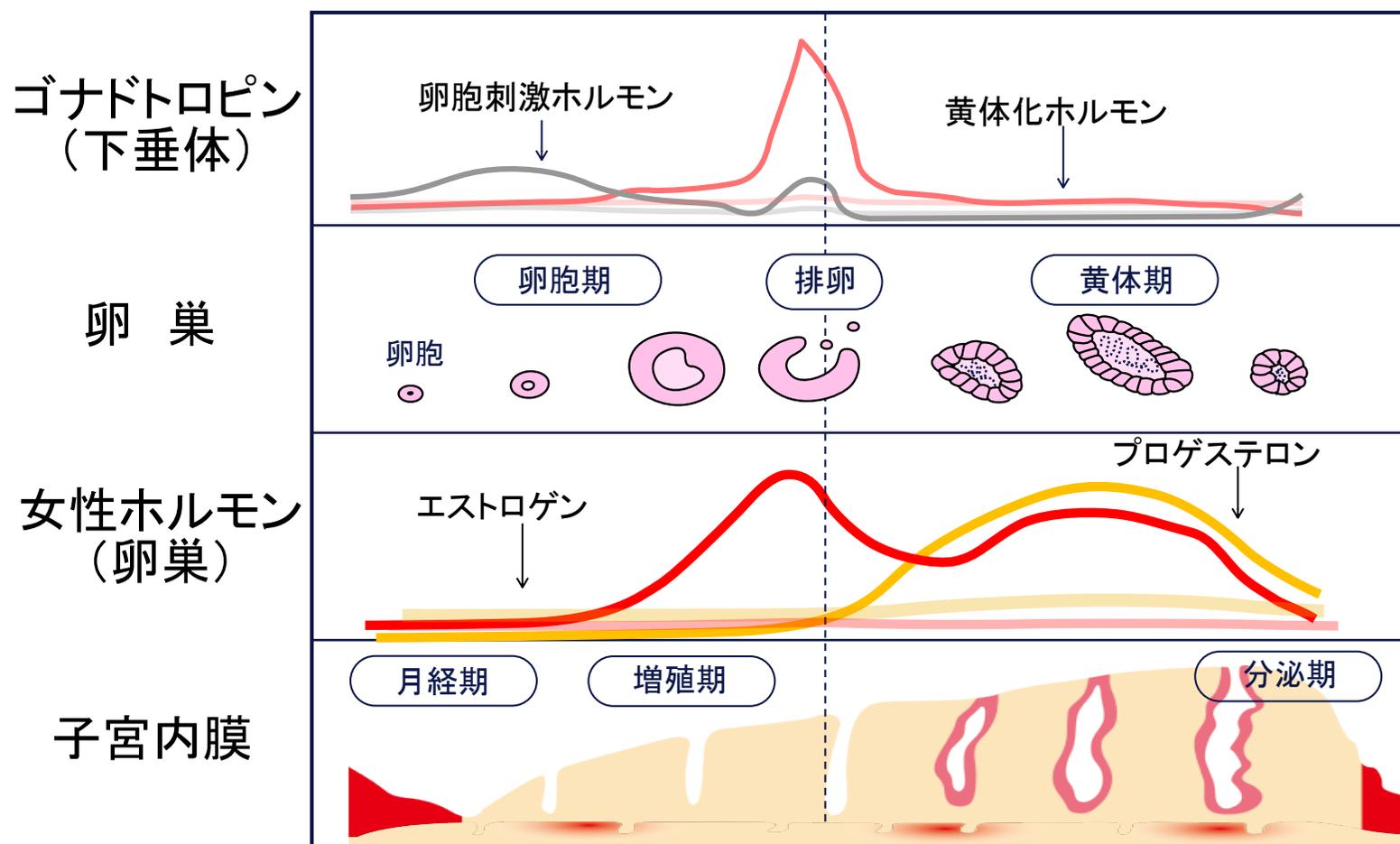
月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

プロゲステロン



月経のコントロール (月経困難症・過多月経)

GnRHアナログ



謝辞



座長の労をおとりいただきました
関西医科大学産科婦人科学講座
主任教授 岡田 英孝 先生
ならびに
ご清聴いただきました先生方に
深謝いたします